

キャリアセミナー(国際貢献)

【テーマ】『開発現場で生まれた現実が見える話し方 ～こうして話せば、前よりはっきり見えてきた～』

【日時】平成26年4月23日(水) 14時40分～16時40分 @N棟302教室

【講師】中田豊一さん(特定非営利活動法人 ソムニード代表理事)

\*\*\*\*\*

【感想】

●今まで人との会話がすぐに止まってしまい、苦しい思いをしていました。何を聞いていいのか、何を話していいのか分からず悩んでいました。今回のセミナーを受講し、「聞き方」が大切なのだと感じました。相手が答えやすいように、相手が話したくなるように、1つ1つ丁寧に質問を重ねていくことで相手が見えてくると知り、実践したくなりました。悩んでいたことの解決の糸口が見つかった気がして嬉しかったです。でも実際にやっていると難しく、実践ではどうしても「why」が言いたくて苦しくなりました。よく考えながら話をしたように思います。苦しかったけれど、何故か相手の人と初対面でも素直に話せていて不思議でした。今後練習をして身につけていけるといいと思いました。本当に良い経験、気づきのあるセミナーでした。有難うございました。日頃のコミュニケーションを見つめ直していきたいです。

●目から鱗がたくさん落ちました。中田さんのおっしゃる“目の前が何となく曇った状態”というのは、私自身日常でよく感じていることでした。トラブルもないし、一見上手くいっているようなコミュニケーション、でも何だか上滑りのような、“本当にそうなの？”という疑問が常に残り……。その原因が「思い込みの上に描いたストーリー上のコミュニケーション」「why, how 発想からくるリスク回避型(おせっかいと思われぬよう)コミュニケーション」だったことに、今日！！気づきました。相手への健全な興味、問題を解決したいという気持ちを持って、今日学んだコミュニケーション法を実践したいです。

●ご自身の経験に基づいたお話を下さったので、すごくイメージがわき、説得力がありました。国際援助畑でこれだけ経験を積みながら、ずっとコミュニケーションに対する疑問を持ち続け、どうにかクリアしようと努力されていることが、すごく意外でした。中田さんが一生懸命解明し、言語化されたこの手法を、日常の中で試していこうと思いました。これから青年海外協力隊としてバングラディッシュに派遣されます。今日学んだことを忘れないようにしたいと思います。企画して下さい、有難うございました。とても面白かったです！

●今日のセミナーを聞いて、日頃の友達との会話やサークルでの会話で違和感を感じていた部分がとてもスッキリしました。人の話を聞いても、そこに現実が伴わなければ意味がなくなってしまう、ということは感じていたので、自分の話し方の何が間違っているのかが分かりました。

●私は東日本大震災の復興支援活動で現地を訪れた時、同じように何を話せば良いかが分かりませんでした。なので、今日のお話はとても参考になりました。有難うございました。

●博士後期課程まで通い本当に良かったのか、とずっとその意味を問い続けてきた私は、今回の授業を通じて前向きに考えるようになりました。私は自分のやりたいことを怯むことなく続けます。自分の想い続けたかたちを実現するために、研究と就職を頑張ります。今日の先生の講義は私のフィールドワークの研究に大変役立ちました。これからの研究と仕事で活かしたいです。大変素晴らしい講義でした。人生に役立つと思います。